

DMX5102-8D/-8A

C5000 シリーズ

オーディオ・デマルチプレクサー・モジュール

取扱説明書

Ver 1.05



はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。



注意

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。



左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

**■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない**

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がする。
このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、
本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。

**■ お客様による修理はしない**

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。

**■ 不安定な場所に置かない**

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

**■ 内部に異物を入れない**

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、
落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを
コンセントから抜いてください。

**■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない**

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

**■ ご使用は正しい電源電圧で**

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

**■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない**

火災・感電の原因になります。

**■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む**

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。

**■ 電源ケーブルを傷つけない**

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。
電源ケーブルを熱器具に近づけない。火災・感電の原因となります。

**■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない**

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

**■ 機器の上に小さな金属物を置かない**

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体
から抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。



 注意**■ 電源プラグを抜くときは**

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。

**■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電の原因となることがあります。

**■ 次のような場所には置かない**

火災・感電の原因となります。
湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど
高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。

**■ 通風孔をふさがない**

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
あお向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。

**■ 重いものを載せない**

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。

**■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する**

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。

**■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く**

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

**■ お手入れをする時は電源プラグを抜く**

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。



仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目 次

表紙.....	1
はじめにお読みください.....	2
目次.....	5
1. 概要.....	8
2. 構成.....	8
3. 機能.....	8
4. ブロック図.....	9
5. 操作説明.....	10
5-1. フロント、リア入出力及び LED 表示.....	10
5-2. フロントモジュール設定.....	12
6. フレームへの取付方法.....	12
7. SNMP.....	13
8. コンフィグ設定ファイル・フォーマット.....	23
9. WebControl.....	27
9-1. モジュール画面.....	27
9-2. ステータス.....	28
9-2-1. SDI 入力 1.....	28
9-2-2. Dipsw1.....	28
9-2-3. Dipsw3.....	28
9-2-4. 内部バス通信エラー.....	28
9-2-5. SDI 入力 1 アンロックエラー.....	28
9-2-6. LTC アンロックエラー.....	28
9-2-7. 無音エラー.....	28
9-3. 無音設定/状態.....	29
9-3-1. 無音エラーCH01～無音エラーCH16.....	29
9-3-2. 無音検出レベル.....	29
9-3-3. 無音検出 秒.....	29
9-3-4. 無音検出 CH01～無音検出 CH16.....	29
9-3-5. アラーム@無音検出 CH1～アラーム@無音検出 CH16.....	29
9-3-6. トラップ@無音検出 CH1～トラップ@無音検出 CH16.....	29
9-4. 各種設定.....	30
9-4-1. プリセット ロード.....	32
9-4-2. プリセット セーブ.....	32
9-4-3. 現設定をコンフィグファイルにセーブ.....	33
9-4-4. 初期設定に戻す.....	33
9-4-5. 入力 1 リレー.....	33

9-4-6.	デマックス Ch08 出力選択	33
9-4-7.	LTC 出力.....	33
9-4-8.	TC(タイムコード)選択	33
9-4-9.	タイムコードオフセット	33
9-4-10.	タイムコードオフセット(時間)～(フレーム)	33
9-4-11.	タイムコードロスト時	33
9-4-12.	タイムコード初期値(時間)～(フレーム)	33
9-4-13.	タイムコード初期値(BG1)～(BG フラグ)	33
9-4-14.	タイムコードドロップフレーム.....	33
9-4-15.	タイムコード初期値読み込み.....	33
9-4-16.	タイムコードフレーム初期値読み込み	33
9-4-17.	タイムコードラン	33
9-4-18.	同じ TC ロスト判定	33
9-4-19.	DF/NDF モード.....	33
9-4-20.	自動プリセット適用.....	34
9-4-21.	プリセット 1M～プリセットその他	34
9-4-22.	GPI1 機能、GPI2 機能	34
9-4-23.	GPO1 機能,GPO2 機能.....	34
9-4-24.	カレントエンベデッド Ch01～Ch32 入力ゲイン.....	34
9-4-25.	カレント外部出力 Ch01～Ch16 出力ゲイン	34
9-4-26.	カレントテストトーン 1 振幅(dBFS)	34
9-4-27.	カレントテストトーン 1 周波数	34
9-4-28.	カレントテストトーン 2 振幅(dBFS)	34
9-4-29.	カレントテストトーン 2 周波数	34
9-4-30.	カレントリマップ出力 Ch01～Ch16	34
9-4-31.	ダウンミックス・ソース選択 Ch01～Ch32	34
9-4-32.	ダウンミックス・Left、Right 係数 Ch01～Ch32	34
9-4-33.	ダウンミックス・Left、Right 符号 Ch01～Ch32	34
9-4-34.	ミックス 1～8 ソース選択 Ch01～Ch04	34
9-4-35.	ミックス 1～8 係数 Ch01～Ch04.....	35
9-4-36.	カレント音声遅延(ms).....	35
9-4-37.	アラーム設定(内部バス通信エラー)	35
9-4-38.	アラーム設定(SDI 入力 1 アンロックエラー)	35
9-4-39.	アラーム設定(LTC アンロックエラー)	35
9-4-40.	トラップ設定(SDI 入力 1 アンロックエラー)	35
9-4-41.	トラップ設定(LTC アンロックエラー)	35
9-5.	再起動設定	35
9-5-1.	再起動を許可.....	35
9-5-2.	コントローラの再起動	35
9-6.	ログ設定.....	35

9-6-1. ログ件数	36
9-6-2. ログ更新時刻	36
9-6-3. ログファイル初期化	36
9-6-4. ログ取得	36
9-7. 製品情報	36
9-7-1. 製品 ID	36
9-7-2. 製品概要	36
9-7-3. Version (Firmware), Version (Hardware)	36
9-7-4. 占有スロット数	36
9-7-5. 別名	36
10. コネクター ピンアサイン表	37
11. 定格および電気的特性	38
12. お問い合わせ	39

1. 概要

- DMX5102-8D は C5000 モジュールシステムに搭載可能な SDI 信号に重畳されているエンベデッド・オーディオを、AES/EBU 8 系統 16ch にデマルチプレクスするモジュールです。DMX5102-8A は、アナログ・オーディオ 8ch、及び AES/EBU 2 系統 4ch にデマルチプレクスします。
- C5000 シリーズ システムフレーム C5002 (2RU) , C5001 (1RU) に搭載可能です。
- 欧州 RoHS 指令に適合しております。

2. 構成

DMX5102-8D/-8A は本体と付属品で構成されています。

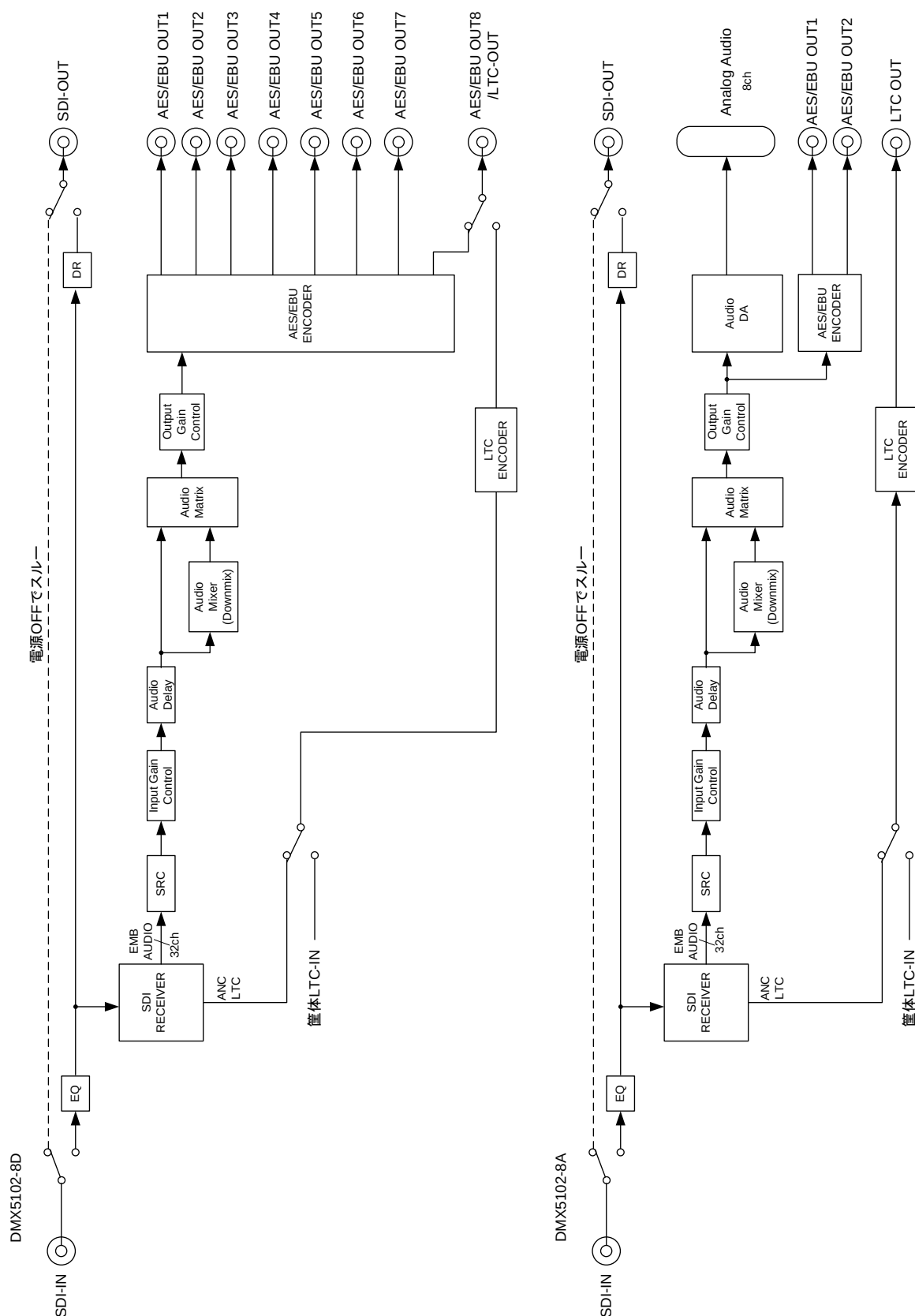
下記の表の通り揃っていることを確認してください。

品 名	型 名	数 量	備 考
オーディオ・デマルチプレクサー・モジュール	DMX5102-8D 又は DMX5102-8A	1	本体
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

3. 機能

- ・3 G(レベル A/B)/HD/SD-SDI に対応し、入力レートを LED で表示します。点灯色は、「5. 操作説明」を参照してください。
- ・エンベデッド・オーディオ 32ch に対応します。(SD/HD-SDI は 16ch まで、3G-SDI はレベル A/B 共に 32ch まで対応します。)
- ・エンベデッド・オーディオが重畳されているグループを LED で表示します。G1 と G5 もしくは G1 リンク B が 1 つの LED で表示され、同様に G2/G6(G2 リンク B)、G3/G7(G3 リンク B)、G4/G8(G4 リンク B)がそれぞれ LED 表示されます。
- ・筐体 LTC-IN に入力されたタイムコードもしくは、アンシラリー・タイムコードを、LTC 出力できます。DMX5102-8D では、AES/EBU OUT8 が LTC OUT と共用されていますので設定により切り替えて出力することができます。
- ・エマージェンシースルー (電源 OFF 時) に対応します。電源 OFF 時 (フロントモジュール未挿入時含む) に SDI-IN が SDI-OUT1 にスルーされます。
- ・リマッピング、ゲイン調整、ダウンミックス、任意チャンネルのミックス機能を装備しています。
- ・ゲイン調整は、-30.0dB～+20.0dB まで、0.1dB 単位で設定可能です。
- ・任意チャンネルのミックスは、4ch までの音声ソースをミックスすることができ、ミックスした音声を 8 通り作成することができます。その 8 通りのミックスした音声を出力にマッピングすることができます。
- ・デジタル・オーディオ、アナログ・オーディオの基準レベルは設定コマンドで切り替えることができます。
- ・音声遅延を 0ms～2sec まで 1ms ステップで付加することが可能です。
- ・パラメーターの設定は SD カード内の設定ファイルを直接編集、又は SNMP,WEB より設定します。
- ・各種設定の全項目の設定値と変化時刻、ステータスの変化と変化時刻をログに残し、WEB からダウンロードが可能です。ログは、最新の 10000 件を SD カードに保存しています。
- ・SNMP に対応します。

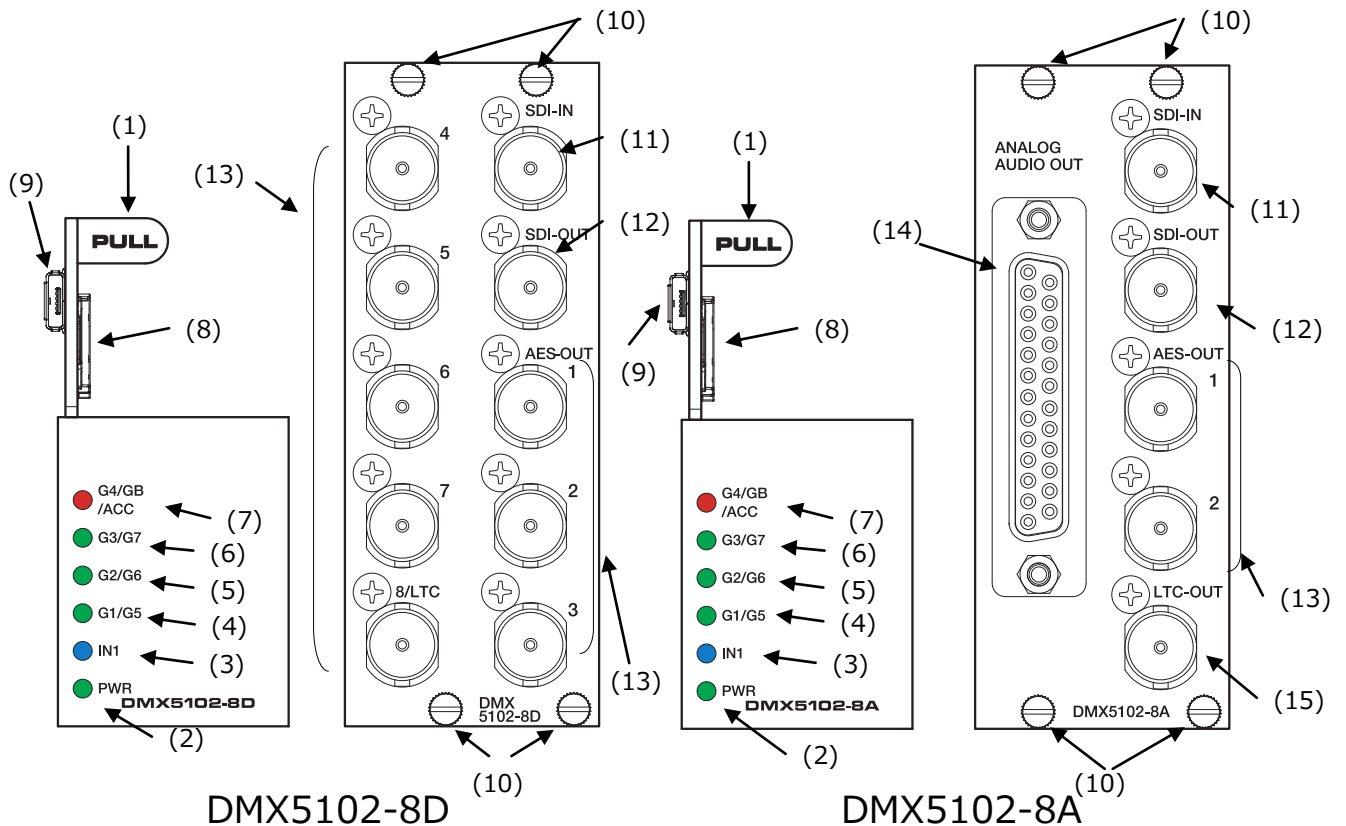
4. ブロック図



エマージェンシースルーは、電源OFF時(フロントモジュールがさされていない状態を含む)に入出力スルー状態になります。

5. 操作説明

5-1. フロント、リア入出力及び LED 表示



(1)フロントモジュール引き出し取っ手 (DMX5102-8D/8A 共通)

(2)電源ランプ 電源投入時 緑点灯 (DMX5102-8D/8A 共通)

(3)入力 1 レート LED (DMX5102-8D/8A 共通)

入力 1 信号のレートを LED 点灯色で表示します。

3G-SDI	----	緑 点灯
HD-SDI	----	青 点灯
SD-SDI/DVB-ASI	----	紫 点灯
無信号	----	消灯 (非対応フォーマット含む)

(4)G1/G5 検出 LED (DMX5102-8D/8A 共通)

グループ 1/5 にエンベデッド・オーディオが重畳されているか、いないかを LED 点灯色で表示します。

G1 のみ重畳	-----	緑 点灯
G5(G1 リンク B)のみ重畳	-----	青 点灯
G1,G5(G1 リンク B)が共に重畳	-----	白 点灯
G1,G5(G1 リンク B)が共に重畳 されていない	-----	消灯

(5) G2/G6 検出 LED (DMX5102-8D/8A 共通)

グループ 2/6 にエンベデッド・オーディオが重畳されているか、いないかを LED 点灯色で表示します。点灯色は G1/G5 検出 LED と同じです。

(6) G3/G7 検出 LED (DMX5102-8D/8A 共通)

グループ 3/7 にエンベデッド・オーディオが重畳されているか、いないかを LED 点灯色で表示します。点灯色は G1/G5 検出 LED と同じです。

(7) G4/G8 検出 LED 及び、SD カードアクセス LED(DMX5102-8D/8A 共通)

通常状態では、グループ 4/8 にエンベデッド・オーディオが重畳されているか、いないかを LED 点灯色で表示します。点灯色は G1/G5 検出 LED と同じです。SD カードを抜き差しした時は、SD カードアクセス LED となります。各種設定は SD カード内の設定ファイルに記述し、電源投入時、及び SD カード挿入時に SD カードからの設定ファイルの読み出しを行います。

SD カードへのアクセス中は赤点灯し、読み出し、設定完了後、設定コマンドにエラーがなければ 1 秒間緑点灯、エラーがあった場合は、1 秒間紫点灯します。

(8)SD カードスロット(DMX5102-8D/8A 共通)

設定ファイルを格納する SD カードスロットです。(SD カードはマイクロ SD カードです)

(9) マイクロ A/B USB コネクター (DMX5102-8D/8A 共通)

内蔵プログラムアップデート用の USB コネクターです。(本バージョンでは未対応)

(10)リアモジュール固定ネジ 4 カ所 (DMX5102-8D/8A 共通)

(11)SDI 入力 (DMX5102-8D/8A 共通)

(12)SDI 出力 (DMX5102-8D/8A 共通)

SDI 入力のアクティブ SDI 出力です。電源オフ時は、SDI 出力に SDI 入力が入力スルーされます。

(13)AES/EBU 出力 (DMX5102-8D/8A 共通)

デマルチプレクスしたエンベデッド・オーディオを出力する AES/EBU 出力です。DMX5102-8D は 8 系統 16 チャンネル、DMX5102-8A は 2 系統 4 チャンネルの出力を装備します。

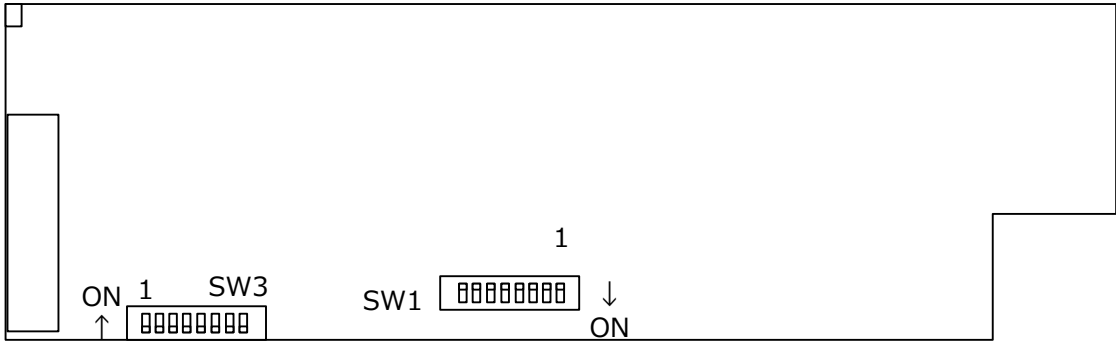
(14)アナログ・オーディオ出力(DMX5102-8A)

デマルチプレクスしたエンベデッド・オーディオを出力するアナログ・バランス・オーディオ 8 チャンネル出力です。

(15)LTC 出力 (DMX5102-8A)

デマルチプレクスした LTC を出力します。

5 – 2. フロントモジュール設定



SW1 出荷時は、すべて OFF です。

ビット	内容
1-8	Reserved

SW3 出荷時は、すべて OFF です。

ビット	内容
1	アナログ音声基準レベル OFF=4dBm、ON=0dBm
2	デジタル音声基準レベル OFF=-20dBFS、ON=-18dBFS
3-8	Reserved

6. フレームへの取付方法

- 6-1 “2 スロット”以上の空きを確認して実装します。
- 6-2 リアモジュールをスロットに挿入してリアモジュール固定ネジを 4ヶ所ネジ止めします。
- 6-3 リアモジュールのスロット番号を確認して、若い番号のほうにフロントモジュールを挿入します（スロット 9, 10 の場合、スロット 9 に挿入）。

7. SNMP

DMX5102-8D/DMX5102-8A は SNMP による監視が可能です。

DMX5102-8D は、[1.3.6.1.4.1.47892.2.1.72.]、DMX5102-8A は[1.3.6.1.4.1.47892.2.1.73.] の後に、以下のオブジェクト識別子を加えて情報を取得します。index はスロット番号で、C5002 では 1～20、C5001 では 1～6 となります。Get/Set 項目の斜体太文字が初期値です。Trap 項目の○は、Get 項目の値が Trap に付加されるオブジェクトであることを示しています。

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
ProductId 10.1.10.index	INTEGER	RO	4	プロダクト ID 情報	<i>DMX5102-8D=72</i> <i>DMX5102-8A=73</i>	
ProductDescr 10.1.11.index	OCTET STRING	RO	128	プロダクト説明	<i>DMX5102-8D="DMX5102-8D : 2 slot Digital Audio (8 AES/EBU) Demultiplexer Module"</i> <i>DMX5102-8A="DMX5102-8A : 2 slot Analog Audio (8 analog) Demultiplexer Module"</i>	
FwVer 10.1.12.index	OCTET STRING	RO	8	ファームウェアバージョン	—	
HwVer 10.1.13.index	OCTET STRING	RO	8	ハードウェアバージョン	—	
OccupiedSlot 10.1.14.index	INTEGER	RO	4	占有スロット数	<i>DMX5102-8D/-8A=2</i>	
AliasName 10.1.15.index	OCTET STRING	R/W	128	エイリアス名	—	
In1RelayCtl 20.1.100.index	INTEGER	R/W	4	IN1 リレー設定	off=1, <i>on=2</i>	
DmxCh8Out 20.1.105.index	INTEGER	R/W	4	DMX5102-8D CH8 LTC/AES 選択	<i>aes8=1</i> , ltc=2	
OutLtcEn 20.1.120.index	INTEGER	R/W	4	LTC 出カインーブル	<i>off=1</i> , on=2	
TcSel 20.1.123.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC の動作を設定	<i>int=1</i> , in1Atc=2, ltc=3	
TcOffsetEn 20.1.124.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット制御	<i>off=1</i> , on=2	
TcOffsetHH 20.1.125.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(時)	<i>0</i> ～23	
TcOffsetMM 20.1.126.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(分)	<i>0</i> ～59	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
TcOffsetSS 20.1.127.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(秒)	0 ~59	
TcOffsetFR 20.1.128.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(フレーム)	0 ~ 2 ~29	
TcLostAction 20.1.129.index	INTEGER	R/W	4	ATC/LTC 信号ロスト時の動作	autoRun=1 , stop=2, noPacket=3	
TcInitHH 20.1.130.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(時)	0 ~23	
TcInitMM 20.1.131.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(分)	0 ~59	
TcInitSS 20.1.132.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(秒)	0 ~59	
TcInitFR 20.1.133.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(フレーム)	0 ~29	
TcInitBG1 20.1.134.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG1)	0 ~15	
TcInitBG2 20.1.135.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG2)	0 ~15	
TcInitBG3 20.1.136.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG3)	0 ~15	
TcInitBG4 20.1.137.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG4)	0 ~15	
TcInitBG5 20.1.138.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG5)	0 ~15	
TcInitBG6 20.1.139.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG6)	0 ~15	
TcInitBG7 20.1.140.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG7)	0 ~15	
TcInitBG8 20.1.141.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG8)	0 ~15	
TcInitBGF 20.1.142.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG flag)	0 ~7	
TcFrLoadEn 20.1.143.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値フレーム 値ロード設定	off=1 , on=2	
TcDropFrEn 20.1.144.index	INTEGER	R/W	4	ドロップフレームの有効/無効 (自走時のみ有効)	off=1, on=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
TcInitLoad 20.1.145.index	INTEGER	R/W	4	TC 自走時、初期値のロード設定	off=1 , on=2	
TcRunEn 20.1.146.index	INTEGER	R/W	4	TC 自走開始	off=1 , on=2	
AmodePchgAuto 20.1.220.index	INTEGER	R/W	4	音声モードによる自動プリセット切替制御	off=1 , on=2	
Preset1M 20.1.221.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p01)	
Preset2M 20.1.222.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p02)	
Preset3M 20.1.223.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 3M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p03)	
Preset4M 20.1.224.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 4M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p04)	
Preset1S 20.1.225.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p05)	
Preset2S 20.1.226.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2S 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p06)	
Preset1S2M 20.1.227.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S+2M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p07)	
Preset51 20.1.228.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p08)	
Preset51S 20.1.229.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1+S 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p09)	
PresetOther 20.1.230.index	INTEGER	R/W	4	その他の音声モード時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p10)	
Gpi1Func 20.1.240.index	INTEGER	R/W	4	GPI1 機能選択	p01=1~p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, non=32	
Gpi2Func 20.1.241.index	INTEGER	R/W	4	GPI2 機能選択	p01=1~p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, non=32	
GpO1Func 20.1.250.index	INTEGER	R/W	4	GPO1 機能選択	p01=1~p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, sdiErr=17, refErr=18, ltcErr=19, linErr=20, non=32	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
GpO2Func 20.1.251.index	INTEGER	R/W	4	GPO2 機能選択	p01=1~p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, sdiErr=17, refErr=18, ltcErr=19, linErr=20, non=32	
PresetLoad 20.1.280.index	INTEGER	R/W	4	プリセットロード	p01=1~p12=12, non=13	
PresetSave 20.1.281.index	INTEGER	R/W	4	プリセットセーブ	p01=1~p12=12, non=13	
CurrentEmb01InGain 20.1.300.index : CurrentEmb32InGain 20.1.331.index	INTEGER	R/W	4	エンベ入力 CH のゲイン調整 (x10dB を設定)	-500~ 0 ~500	
CurrentExt01OutGain 20.1.382.index : CurrentExt16OutGain 20.1.397.index	INTEGER	R/W	4	外部出力(AES/ANA)CH のゲ イン調整(x10dB を設定)	-500~ 0 ~500	
CurrentTT1Amp 20.1.400.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 1 振幅(dB)	-63~- 20 ~0	
CurrentTT1Freq 20.1.401.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 1 周波数	f400Hz=1, f800Hz=2, f1kHz=3 , f2kHz=4	
CurrentTT2Amp 20.1.402.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 2 振幅(dB)	-63~- 20 ~0	
CurrentTT2Freq 20.1.403.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 2 周波数	f400Hz=1, f800Hz=2 , f1kHz=3, f2kHz=4	
CurrentRemapCh01 20.1.410.index : CurrentRemapCh16 20.1.425.index	INTEGER	R/W	4	リマップ出力 CH 選択 (外部 出力)	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, dmxL=51, dmxR=52, mix1=53~mix8=60, non=63 (初期値 Ch01~16=emb01~ emb16)	
CurrentDmxSSelCh01 20.1.500.index : CurrentDmxSSelCh32 20.1.531.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス演算 CH ソー ス選択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, non=63 (初期値 Ch01~32=emb01~ emb32)	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentDmxLCoefCh01 20.1.532.index : CurrentDmxLCoefCh32 20.1.563.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentDmxRCoefCh01 20.1.564.index : CurrentDmxRCoefCh32 20.1.595.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentDmxLSignCh01 20.1.600.index : CurrentDmxLSignCh32 20.1.631.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数符号	-1, 1	
CurrentDmxRSignCh01 20.1.632.index : CurrentDmxRSignCh32 20.1.663.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数符号	-1, 1	
CurrentMix1SSelCh01 20.1.700.index : CurrentMix1SSelCh04 20.1.703.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 1 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix1CoefCh01 20.1.704.index : CurrentMix1CoefCh04 20.1.707.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 1 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix2SSelCh01 20.1.710.index : CurrentMix2SSelCh04 20.1.713.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 2 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix2CoefCh01 20.1.714.index : CurrentMix2CoefCh04 20.1.717.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 2 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix3SSelCh01 20.1.720.index : CurrentMix3SSelCh04 20.1.723.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 3 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix3CoefCh01 20.1.724.index : CurrentMix3CoefCh04 20.1.727.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 3 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix4SSelCh01 20.1.730.index : CurrentMix4SSelCh04 20.1.733.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 4 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix4CoefCh01 20.1.734.index : CurrentMix4CoefCh04 20.1.737.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 4 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix5SSelCh01 20.1.740.index : CurrentMix5SSelCh04 20.1.743.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 5 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix5CoefCh01 20.1.744.index : CurrentMix5CoefCh04 20.1.747.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 5 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix6SSelCh01 20.1.750.index : CurrentMix6SSelCh04 20.1.753.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 6 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, <i>mute=63</i>	
CurrentMix6CoefCh01 20.1.754.index : CurrentMix6CoefCh04 20.1.757.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 6 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, <i>Zero=-127</i>	
CurrentMix7SSelCh01 20.1.760.index : CurrentMix7SSelCh04 20.1.763.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 7 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, <i>mute=63</i>	
CurrentMix7CoefCh01 20.1.764.index : CurrentMix7CoefCh04 20.1.767.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 7 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, <i>Zero=-127</i>	
CurrentMix8SSelCh01 20.1.770.index : CurrentMix8SSelCh04 20.1.773.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 8 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, tt1=49, tt2=50, <i>mute=63</i>	
CurrentMix8CoefCh01 20.1.774.index : CurrentMix8CoefCh04 20.1.777.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 8 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, <i>Zero=-127</i>	
CurrentAudioDelay 20.1.780.index	INTEGER	R/W	4	音声遅延(ms)	0~ <i>32</i> ~2000	
AlarmEnIntComm 20.1.800.index	INTEGER	R/W	4	内部バス通信エラーアラーム イネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	
AlarmEnSDIIn1Unlock 20.1.802.index	INTEGER	R/W	4	SDI IN1 アンロックアラーム イネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	
AlarmEnLtcUnlock 20.1.805.index	INTEGER	R/W	4	Ltc アンロックアラームイネー ブル	<i>disable=1</i> , enable=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
TrapEnSDIIn1Unlock 20.1.851.index	INTEGER	R/W	4	SDI IN1 アンロックトラップ バイネーブル	disable=1 , enable=2	
TrapEnLtcUnlock 20.1.854.index	INTEGER	R/W	4	LTC アンロックトラップバイネーブル	disable=1 , enable=2	
SetDefault 20.1.900.index	INTEGER	R/W	4	デフォルト設定に戻す	no=1 , yes=2	
ConfigFileWrite 20.1.901.index	INTEGER	R/W	4	現在の設定をコンフィグ設定 ファイルに書き込む	no=1 , yesP01=2~yesP12=13	
SilenceLevel 21.1.10.index	INTEGER	R/W	4	無音検出レベル (dBFS)	-70, -75, -80	
SilenceDuration 21.1.11.index	INTEGER	R/W	4	無音検出時間 (秒)	1 , 3, 5, 10, 20, 30	
SilenceDetectCh01 21.1.20.index : SilenceDetectCh16 21.1.35.index	INTEGER	R/W	4	外部音声出力 Ch01~Ch16 無 音検出	Off=1 , on=2	
SilenceAlarmEnCh01 21.1.40.index : SilenceAlarmEnCh16 21.1.55.Index	INTEGER	R/W	4	外部音声出力 Ch01~Ch16 無 音検出アラーム	Off=1 , on=2	
SilenceTrapEnCh01 21.1.60.index : SilenceTrapEnCh16 21.1.75.Index	INTEGER	R/W	4	外部音声出力 Ch01~Ch16 無 音検出トラップ	Off=1 , on=2	
SilenceStatusCh01 21.1.120.index : SilenceStatusCh16 21.1.135.Index	INTEGER	RO	4	外部音声出力 Ch01~Ch16 無 音検出ステータス	エラーなし=1 , エラー=2 , 検 出オフ=3, 対象外=4	
AllowReboot 28.1.910.index	INTEGER	R/W	4	リブート許可	no=1 , yes=2	
Reboot 28.1.911.index	INTEGER	R/W	4	リブート実行	no=1 , yes=2	
LogCount 29.1.10.index	INTEGER	RO	4	ログ件数	0~10000	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
LogUpdateTime 29.1.11.index	INTEGER	RO	4	ログ変更時刻	—	
LogReset 29.1.900.index	INTEGER	R/W	4	ログファイル初期化	no=1 , yes=2	
In1 30.1.100.index	INTEGER	RO	4	SDI In1 のステータス	unlock=1, f525I59=2, f625I50=3, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=20, f1080PSF23=21, f1080P60A=22, f1080P59A=23, f1080P50A=24, f1080P60B=25, f1080P59B=26, f1080P50B=27	
Ref 30.1.102.index	INTEGER	RO	4	REF のステータス	unlock=1, f525I59=2, f625I50=3, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=20, f1080PSF23=21	
Dipsw1 30.1.103.index	INTEGER	RO	4	Dipsw1 の設定 ON=1、OFF=0	0~255	
Dipsw3 30.1.104.index	INTEGER	RO	4	Dipsw3 の設定 ON=1、OFF=0	0~255	
AlarmIntCommErr 30.1.201.index	INTEGER	RO	4	内部バス通信エラーアラーム ステータス	noErr=1, err=2	
AlarmSdiIn1Unlock 30.1.202.index	INTEGER	RO	4	SDI In1 アンロックアラーム ステータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmLtcUnlock 30.1.205.index	INTEGER	RO	4	LTC アンロックアラームステ ータス ※1	lock=1, unlock=2	○

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
ErrInfo 30.1.206.index	INTEGER	RO	4	内部エラー情報ステータス	0x00000000~0xffffffff	
SilenceStatus 30.1.207.index	INTEGER	RO	4	無音エラー	noErr=1, err=2	○

トラップオブジェクト識別子は、DMX5102-8D は[1.3.6.1.4.1.47892.1.1.72.0.]、DMX5102-8A は[1.3.6.1.4.1.47892.1.1.73.0.]の後に、以下のオブジェクト識別子でトラップが発行されます。各トラップは、index(Slot 情報)を持つ SNMP 設定情報が添付されます。

Trap 番号	内容
TrapSDIInLock 1	SDI がロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmSDIIn1Unlock (30.1.202.index)
TrapLtcLock 4	LTC がロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmLtcUnlock (30.1.205.index)
TrapSilenceStatusNormal 5	無音エラーなしを検出したことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: SilenceStatus (30.1.207.index)
TrapSDIInUnlock 101	SDI がアンロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmSDIIn1Unlock (30.1.202.index)
TrapLtcUnlock 104	LTC がアンロックしたことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: AlarmLtcUnlock (30.1.205.index)
TrapSilenceStatusError 105	無音エラーを検出したことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: SilenceStatus (30.1.207.index)

8. コンフィグ設定ファイル・フォーマット

SD カードに“DMX5000_comm.cfg”のファイル名で格納されているファイルがプリセット共通コンフィグ設定ファイルです。“DMX5000_P01.cfg”～“DMX5000_P12.cfg”のファイル名で格納されているファイルがプリセット毎のコンフィグ設定ファイルです。1 行 1 パラメーターとなっており、設定コマンド、パラメーターの順に記載します。//以降はコメントとして扱われます。なお、SD カードをフロントモジュールに差し込み、CPU がアクセスすると SD カードアクセス LED がアクセス中、赤点灯します。読み込みエラーがなかった場合は、MODE LED が 1 秒間緑点灯し、読み込みエラーがあった場合は、1 秒間紫点灯します。

記述例)

IN1_RL ON // IN1 Relay ON/OFF ON:通常、OFF:スルー

以下に、“DMX5000_comm.cfg”の設定コマンド一覧を示します。下記以外のコマンドは無効となり、動作には影響を与えません。

設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
IN1_RL	IN1 リレー設定	ON:通常、OFF:スルー	ON
DMX_CH8_OUT ※1	MX5102-8D CH8 LTC/AES 選択	LEC/AES	AES
TC_OFFSET_EN	内蔵 TC のオフセット制御 (TC_SEL=IN1_ATC/LTC 時のみ有効)	ON:イネーブル、OFF:ディスエーブル	ON
TC_OFFSET_HH	内蔵 TC のオフセット値(時)	0～23	0
TC_OFFSET_MM	内蔵 TC のオフセット値(分)	0～59	0
TC_OFFSET_SS	内蔵 TC のオフセット値(秒)	0～59	0
TC_OFFSET_FR	内蔵 TC のオフセット値(フレーム)	0～29	2
TC_INIT_HH	内蔵 TC への初期値(時)	0～23	0
TC_INIT_MM	内蔵 TC への初期値(分)	0～59	0
TC_INIT_SS	内蔵 TC への初期値(秒)	0～59	0
TC_INIT_FR	内蔵 TC への初期値(フレーム)	0～29	0
TC_INIT_BG1	内蔵 TC への初期値(BG1)	0x0～0xf	0x0
TC_INIT_BG2	内蔵 TC への初期値(BG2)	0x0～0xf	0x0
TC_INIT_BG3	内蔵 TC への初期値(BG3)	0x0～0xf	0x0
TC_INIT_BG4	内蔵 TC への初期値(BG4)	0x0～0xf	0x0
TC_INIT_BG5	内蔵 TC への初期値(BG5)	0x0～0xf	0x0
TC_INIT_BG6	内蔵 TC への初期値(BG6)	0x0～0xf	0x0
TC_INIT_BG7	内蔵 TC への初期値(BG7)	0x0～0xf	0x0
TC_INIT_BG8	内蔵 TC への初期値(BG8)	0x0～0xf	0x0
TC_INIT_BGF	内蔵 TC への初期値(BG flag)	0x0～0x7	0x0
TC_FR_LOAD_EN	内蔵 TC への初期値フレーム値ロード設定	ON:ロード、OFF:ロードしない	OFF
TC_DROP_FR_EN	ドロップフレームの有効/無効 (自走時のみ有効)	ON:有効、OFF:無効	ON
TC_LOST_ACTION	ATC/LTC 信号ロスト時の動作	AUTO_RUN/STOP/NO_PACKET	AUTO_RUN
TC_SEL	内蔵 TC の動作を設定	IN1_ATC(入力 1 の ATC スルー)/LTC/INT	INT

設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
TC_INIT_LOAD	TC 自走時、初期値のロード設定	ON:ロード、OFF:ロードしない	OFF
TC_RUN_EN	TC 自走開始	ON:自走、OFF:停止	OFF
OUT_LTC_EN	LTC 出力の有効/無効	ON:有効、OFF:無効	OFF
AMODE_PCHG_AUTO	音声モードによる自動プリセット切り替え制御	ON:有効、OFF:無効	OFF
1M_PRESET	音声モード 1M 時のプリセット	P01～P12	P01
2M_PRESET	音声モード 2M 時のプリセット	P01～P12	P02
3M_PRESET	音声モード 3M 時のプリセット	P01～P12	P03
4M_PRESET	音声モード 4M 時のプリセット	P01～P12	P04
1S_PRESET	音声モード 1S 時のプリセット	P01～P12	P05
2S_PRESET	音声モード 2S 時のプリセット	P01～P12	P06
1S+2M_PRESET	音声モード 1S+2M 時のプリセット	P01～P12	P07
5.1_PRESET	音声モード 5.1 時のプリセット	P01～P12	P08
5.1+S_PRESET	音声モード 5.1+S 時のプリセット	P01～P12	P09
OTHER_PRESET	その他の音声モード時のプリセット	P01～P12	P10
GPI1_FUNC GPI2_FUNC	GPI 機能選択	P01～P12, FREEZE, THROUGH, MUTE_ON, TC_SET, NON	NON
GPO1_FUNC GPO2_FUNC	GPO 機能選択	P01～P12, FREEZE, THROUGH, MUTE_ON, TC_SET, SDI_ERR, REF_ERR, LTC_ERR, LINE_ERR, NON	NON
PRESET_UPDATE	プリセットファイルを EEPROM にアップデートするかしないか。音声モードによるプリセット切り換えしない場合は OFF を選択	ON:アップデート、OFF:アップデートしない	OFF

※1 : DMX5102-8D のみ有効

以下に、“DMX5000_P01.cfg”～“DMX5000_P12.cfg”の設定コマンド一覧を示します。

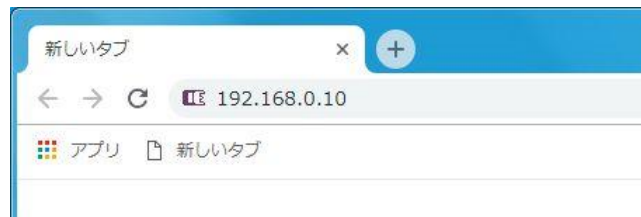
設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
EMB01IN_GAIN : EMB32IN_GAIN	エンベ入力 CH のゲイン調整 (0.1dB ステップ)	-50.0～+50.0	0
EXT01OUT_GAIN : EXT16OUT_GAIN	外部出力(AES/ANA)CH のゲイン調整 (0.1dB ステップ)	-50.0～+50.0	0
TT1_AMP	テストトーン 1 振幅(1dB ステップ)	0～-63 (dBFS)	-20
TT1_FREQ	テストトーン 1 周波数	400/800/1000/2000 (Hz)	1000
TT2_AMP	テストトーン 2 振幅(1dB ステップ)	0～-63 (dBFS)	-20
TT2_FREQ	テストトーン 2 周波数	400/800/1000/2000 (Hz)	800

設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
REMAP_CH01 : REMAP_CH16	リマップ出力 CH 選択	EMB01～EMB32/ EXT01～EXT16/TT1/TT2/ DMX_L/DMX_R/MIX1～MIX8/ MUTE	EMB01 : EMB16
DMX_SSEL_CH01 : DMX_SSEL_CH16	ダウンミックス演算 CH ソース選択	EMB01～EMB32/ EXT01～EXT16/TT1/TT2/MUTE	EMB01～ EMB32
DMX_LCOEF_CH01 : DMX_LCOEF_CH16	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数 (0.1dB ステップ)	0～-12.6、ZERO (dB)	ZERO
DMX_RCOEF_CH01 : DMX_RCOEF_CH16	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数 (0.1dB ステップ)	0～-12.6、ZERO (dB)	ZERO
DMX_LSIGN_CH01 : DMX_LSIGN_CH16	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数符号	+1/-1	1
DMX_RSIGN_CH01 : DMX_RSIGN_CH16	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数符号	+1/-1	1
MIX1_SSEL_CH01 : MIX1_SSEL_CH04	音声ミックス 1 CH ソース選択	EMB01～EMB32/ EXT01～EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX1_COEF_CH01 : MIX1_COEF_CH04	音声ミックス 1 CH 係数	0～-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX2_SSEL_CH01 : MIX2_SSEL_CH04	音声ミックス 2 CH ソース選択	EMB01～EMB32/ EXT01～EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX2_COEF_CH01 : MIX2_COEF_CH04	音声ミックス 2 CH 係数	0～-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX3_SSEL_CH01 : MIX3_SSEL_CH04	音声ミックス 3 CH ソース選択	EMB01～EMB32/ EXT01～EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX3_COEF_CH01 : MIX3_COEF_CH04	音声ミックス 3 CH 係数	0～-12.6、ZERO (dB)	ZERO

設定コマンド	内容	設定パラメーター	Default
MIX4_SSEL_CH01 : MIX4_SSEL_CH04	音声ミックス 4 CH ソース選択	EMB01～EMB32/ EXT01～EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX4_COEF_CH01 : MIX4_COEF_CH04	音声ミックス 4 CH 係数	0～-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX5_SSEL_CH01 : MIX5_SSEL_CH04	音声ミックス 5 CH ソース選択	EMB01～EMB32/ EXT01～EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX5_COEF_CH01 : MIX5_COEF_CH04	音声ミックス 5 CH 係数	0～-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX6_SSEL_CH01 : MIX6_SSEL_CH04	音声ミックス 6 CH ソース選択	EMB01～EMB32/ EXT01～EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX6_COEF_CH01 : MIX6_COEF_CH04	音声ミックス 6 CH 係数	0～-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX7_SSEL_CH01 : MIX7_SSEL_CH04	音声ミックス 7 CH ソース選択	EMB01～EMB32/ EXT01～EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX7_COEF_CH01 : MIX7_COEF_CH04	音声ミックス 7 CH 係数	0～-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX8_SSEL_CH01 : MIX8_SSEL_CH04	音声ミックス 8 CH ソース選択	EMB01～EMB32/ EXT01～EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX8_COEF_CH01 : MIX8_COEF_CH04	音声ミックス 8 CH 係数	0～-12.6、ZERO (dB)	ZERO
AUDIO_DELAY	音声遅延(1ms ステップ)	0～2000 (ms)	0

9. WebControl

WEB から、全ての設定を確認、変更できます。Google Chrome で IP アドレスを入力して、WebControl に接続します。
C5002-20/C5001-20 フレームの IP アドレス出荷時設定は、“192.168.0.10”です。



詳細な操作方法は 93-10092 「WebControl 取扱説明書」を参照してください。

9 - 1. モジュール画面

DMX5102-8D/DMX5102-8A が挿入されたスロットをクリックするとモジュール画面が表示されます。（DMX5102-8D の表示例）



‘+’マークをクリックすることにより、各設定が表示されます。以下に各項目の説明を記載します。

9 – 2. ステータス

ステータスには各種モジュールの状態が表示されます。

ステータス [-]

7項目

☐ SDI入力1	1080I59	☐ Dipsw1	0x0	☐ Dipsw3	0x0	☐ 内部バス通信エラー	エラー無し
☐ SDI入力1アンロックエラー	ロック	☐ LTCアンロックエラー	アンロック	☐ 無音エラー	エラー無し		

9 – 2 – 1. SDI 入力 1

SDI 入力 1 に入力されている信号のフォーマットを表示します。unlock /525I59 /625I50 /720P60 /720P59 /720P50 /720P30 /720P29 /720P25 /720P24 /720P23 /1080I60 /1080i59 /1080I50 /1080P30 /1080P29 /1080P25 /1080P24 /1080P23 /1080PSF24 /1080PSF23 /1080P60A /1080P59A /1080P50A /1080P60B /1080P59B /1080P50Bと表示されます。

9 – 2 – 2. Dipsw1

Dipsw1 の設定を 16 進数で表示します。ON が 1, OFF が 0 です。

9 – 2 – 3. Dipsw3

Dipsw3 の設定を 16 進数で表示します。ON が 1, OFF が 0 です。

9 – 2 – 4. 内部バス通信エラー

内部バスの通信が停止したときにエラーと赤点灯します。エラーがない場合はエラー無しと緑点灯します。

9 – 2 – 5. SDI 入力 1 アンロックエラー

SDI 入力 1 がロック（緑点灯）か、アンロック（赤点灯）かを表示します。

9 – 2 – 6. LTC アンロックエラー

LTC がロック（緑点灯）か、アンロック（赤点灯）かを表示します。

9 – 2 – 7. 無音エラー

外部音声出力の無音検出がオンの時、無音を検出するとエラー（赤点灯）表示します。通常はエラー無し(緑点灯)を表示します。

9-3. 無音設定/状態

外部音声出力の無音検出のオン/オフや、アラーム、トラップの有効/無効の設定と、無音検出のエラーステータスを表示します。

無音設定/状態 [-]

66項目

☐ 無音エラー-CH01	検出オフ	☐ 無音エラー-CH02	検出オフ	☐ 無音エラー-CH03	検出オフ	☐ 無音エラー-CH04	検出オフ
☐ 無音エラー-CH05	検出オフ	☐ 無音エラー-CH06	検出オフ	☐ 無音エラー-CH07	検出オフ	☐ 無音エラー-CH08	検出オフ
☐ 無音エラー-CH09	検出オフ	☐ 無音エラー-CH10	検出オフ	☐ 無音エラー-CH11	検出オフ	☐ 無音エラー-CH12	検出オフ
☐ 無音エラー-CH13	検出オフ	☐ 無音エラー-CH14	検出オフ	☐ 無音エラー-CH15	検出オフ	☐ 無音エラー-CH16	検出オフ
☐ 無音検出 レベル	-80 ⇅	☐ 無音検出 秒	1 ⇅	☐ 無音検出 CH01	オフ ⇅	☐ 無音検出 CH02	オフ ⇅
☐ 無音検出 CH03	オフ ⇅	☐ 無音検出 CH04	オフ ⇅	☐ 無音検出 CH05	オフ ⇅	☐ 無音検出 CH06	オフ ⇅
☐ 無音検出 CH07	オフ ⇅	☐ 無音検出 CH08	オフ ⇅	☐ 無音検出 CH09	オフ ⇅	☐ 無音検出 CH10	オフ ⇅
☐ 無音検出 CH11	オフ ⇅	☐ 無音検出 CH12	オフ ⇅	☐ 無音検出 CH13	オフ ⇅	☐ 無音検出 CH14	オフ ⇅
☐ 無音検出 CH15	オフ ⇅	☐ 無音検出 CH16	オフ ⇅	☐ アラーム@無音検出 CH01	無効 ⇅	☐ アラーム@無音検出 CH02	無効 ⇅
☐ アラーム@無音検出 CH03	無効 ⇅	☐ アラーム@無音検出 CH04	無効 ⇅	☐ アラーム@無音検出 CH05	無効 ⇅	☐ アラーム@無音検出 CH06	無効 ⇅
☐ アラーム@無音検出 CH07	無効 ⇅	☐ アラーム@無音検出 CH08	無効 ⇅	☐ アラーム@無音検出 CH09	無効 ⇅	☐ アラーム@無音検出 CH10	無効 ⇅
☐ アラーム@無音検出 CH11	無効 ⇅	☐ アラーム@無音検出 CH12	無効 ⇅	☐ アラーム@無音検出 CH13	無効 ⇅	☐ アラーム@無音検出 CH14	無効 ⇅
☐ アラーム@無音検出 CH15	無効 ⇅	☐ アラーム@無音検出 CH16	無効 ⇅	☐ トラップ@無音検出 CH01	無効 ⇅	☐ トラップ@無音検出 CH02	無効 ⇅
☐ トラップ@無音検出 CH03	無効 ⇅	☐ トラップ@無音検出 CH04	無効 ⇅	☐ トラップ@無音検出 CH05	無効 ⇅	☐ トラップ@無音検出 CH06	無効 ⇅
☐ トラップ@無音検出 CH07	無効 ⇅	☐ トラップ@無音検出 CH08	無効 ⇅	☐ トラップ@無音検出 CH09	無効 ⇅	☐ トラップ@無音検出 CH10	無効 ⇅
☐ トラップ@無音検出 CH11	無効 ⇅	☐ トラップ@無音検出 CH12	無効 ⇅	☐ トラップ@無音検出 CH13	無効 ⇅	☐ トラップ@無音検出 CH14	無効 ⇅
☐ トラップ@無音検出 CH15	無効 ⇅	☐ トラップ@無音検出 CH16	無効 ⇅				

9-3-1. 無音エラー-CH01～無音エラー-CH16

外部音声出力の無音検出の状態を、エラー無し、エラー、検出オフ、対象外から表示します。

外部音声出力の無音検出がオンの時は、エラー無しあるいは、エラーを表示します。オフの時は、検出オフを表示します。DMX の機種により、仕様以外の Ch は、対象外を表示します。

9-3-2. 無音検出レベル

無音と判定するレベル（しきい値）を設定します。-80dBFS、-75dBFS、-70dBFS から選択します。

9-3-3. 無音検出 秒

無音と判定するまでの時間（秒）を設定します。1 秒、3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒から選択します。

9-3-4. 無音検出 CH01～無音検出 CH16

外部音声出力の無音検出を行う場合、Ch ごとにオンします。無音検出しない場合は、オフにします。

9-3-5. アラーム@無音検出 CH1～アラーム@無音検出 CH16

外部音声出力の無音検出時に、アラームを発報する（有効）か、しない（無効）かを、Ch ごとに設定します。

9-3-6. トラップ@無音検出 CH1～トラップ@無音検出 CH16

外部音声出力の無音検出時に、トラップを発報する（有効）か、しない（無効）かを、Ch ごとに設定します。

9-4. 各種設定

各種設定には、モジュールに設定できる項目が表示されます。

各項目は、プルダウンメニューにより設定できるパラメーターを選択するか、値を直接入力することにより設定します。入力した時点で、モジュールには設定が反映されます。ただし、SDCARD には設定が保存されませんので、全ての設定が終了後、コンフィグファイルへの書き込みを明示的に行ってください。

各種設定 [-]								346項目
☐ プリセット ロード	いいえ ⇅	☐ プリセット セーブ	いいえ ⇅	☐ 現設定をコンフィグファイルにセーブ	いいえ ⇅	☐ 初期設定に戻す	戻る	
	更新		更新		更新			
☐ 入力リレー切替	オン:通常動作 ⇅	☐ デマックスCH08出力選択	AES8 ⇅	☐ LTC出力	オフ ⇅	☐ TC選択	内部TC ⇅	
☐ ATC/LTC 内蔵TCオフセット制御	オフ ⇅	☐ ATC/LTC 内蔵TCオフセット(時)	0	☐ ATC/LTC 内蔵TCオフセット(分)	0	☐ ATC/LTC 内蔵TCオフセット(秒)	0	
☐ ATC/LTC 内蔵TCオフセット(フレーム)	2	☐ TCロスト時動作	自走 ⇅	☐ 内蔵TC初期値(時)	0	☐ 内蔵TC初期値(分)	0	
☐ 内蔵TC初期値(秒)	0	☐ 内蔵TC初期値(フレーム)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG1)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG2)	0	
☐ 内蔵TC初期値(BG3)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG4)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG5)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG6)	0	
☐ 内蔵TC初期値(BG7)	0	☐ 内蔵TC初期値(BG8)	0	☐ 内蔵TC初期値(BGフラグ)	0	☐ 内蔵TCフレーム初期値ロード設定	オフ ⇅	
☐ 内蔵TCドロップフレーム設定	オン ⇅	☐ 内蔵TC初期値ロード設定	オフ ⇅	☐ 内蔵TC自走開始設定	オフ ⇅	☐ 同TC検出時ロスト判定設定	オン ⇅	
☐ ATC/LTC TCモード設定	入力追従モード ⇅	☐ 音声モード自動プリセット切替設定	オフ ⇅	☐ 音声モード1M時 プリセット値	プリセット01 ⇅	☐ 音声モード2M時 プリセット値	プリセット02 ⇅	
☐ 音声モード3M時 プリセット値	プリセット03 ⇅	☐ 音声モード4M時 プリセット値	プリセット04 ⇅	☐ 音声モード1S時 プリセット値	プリセット05 ⇅	☐ 音声モード2S時 プリセット値	プリセット06 ⇅	
☐ 音声モード1S+2M時 プリセット値	プリセット07 ⇅	☐ 音声モード5.1時 プリセット値	プリセット08 ⇅	☐ 音声モード5.1+S時 プリセット値	プリセット09 ⇅	☐ その他音声モード時 プリセット値	プリセット10 ⇅	
☐ GPI1 機能選択	なし ⇅	☐ GPI2 機能選択	なし ⇅	☐ GPO1 機能選択	なし ⇅	☐ GPO2 機能選択	なし ⇅	
☐ エンベデッドCH01 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH02 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH03 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH04 入力ゲイン(*0.1dB)	0	
☐ エンベデッドCH05 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH06 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH07 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH08 入力ゲイン(*0.1dB)	0	
☐ エンベデッドCH09 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH10 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH11 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH12 入力ゲイン(*0.1dB)	0	
☐ エンベデッドCH13 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH14 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH15 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH16 入力ゲイン(*0.1dB)	0	
☐ エンベデッドCH17 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH18 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH19 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH20 入力ゲイン(*0.1dB)	0	
☐ エンベデッドCH21 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH22 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH23 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH24 入力ゲイン(*0.1dB)	0	
☐ エンベデッドCH25 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH26 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH27 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH28 入力ゲイン(*0.1dB)	0	
☐ エンベデッドCH29 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH30 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH31 入力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ エンベデッドCH32 入力ゲイン(*0.1dB)	0	
☐ 外部出力CH01出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ 外部出力CH02出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ 外部出力CH03出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ 外部出力CH04出力ゲイン(*0.1dB)	0	
☐ 外部出力CH05出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ 外部出力CH06出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ 外部出力CH07出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ 外部出力CH08出力ゲイン(*0.1dB)	0	
☐ 外部出力CH09出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ 外部出力CH10出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ 外部出力CH11出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ 外部出力CH12出力ゲイン(*0.1dB)	0	
☐ 外部出力CH13出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ 外部出力CH14出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ 外部出力CH15出力ゲイン(*0.1dB)	0	☐ 外部出力CH16出力ゲイン(*0.1dB)	0	
☐ テストトーン1 振幅(dBFS)	-20	☐ テストトーン1 周波数	1kHz ⇅	☐ テストトーン2 振幅(dBFS)	-20	☐ テストトーン2 周波数	800Hz ⇅	
☐ リマップ出力CH01	Embln CH01 ⇅	☐ リマップ出力CH02	Embln CH02 ⇅	☐ リマップ出力CH03	Embln CH03 ⇅	☐ リマップ出力CH04	Embln CH04 ⇅	
☐ リマップ出力CH05	Embln CH05 ⇅	☐ リマップ出力CH06	Embln CH06 ⇅	☐ リマップ出力CH07	Embln CH07 ⇅	☐ リマップ出力CH08	Embln CH08 ⇅	
☐ リマップ出力CH09	Embln CH09 ⇅	☐ リマップ出力CH10	Embln CH10 ⇅	☐ リマップ出力CH11	Embln CH11 ⇅	☐ リマップ出力CH12	Embln CH12 ⇅	
☐ リマップ出力CH13	Embln CH13 ⇅	☐ リマップ出力CH14	Embln CH14 ⇅	☐ リマップ出力CH15	Embln CH15 ⇅	☐ リマップ出力CH16	Embln CH16 ⇅	
☐ ダウンミックスCH01 ソース選択	Embln CH01 ⇅	☐ ダウンミックスCH02 ソース選択	Embln CH02 ⇅	☐ ダウンミックスCH03 ソース選択	Embln CH03 ⇅	☐ ダウンミックスCH04 ソース選択	Embln CH04 ⇅	
☐ ダウンミックスCH05 ソース選択	Embln CH05 ⇅	☐ ダウンミックスCH06 ソース選択	Embln CH06 ⇅	☐ ダウンミックスCH07 ソース選択	Embln CH07 ⇅	☐ ダウンミックスCH08 ソース選択	Embln CH08 ⇅	

ダウンミックスCH09 ソ ース選択	Embln CH09 ⇅	ダウンミックスCH10 ソ ース選択	Embln CH10 ⇅	ダウンミックスCH11 ソ ース選択	Embln CH11 ⇅	ダウンミックスCH12 ソ ース選択	Embln CH12 ⇅
ダウンミックスCH13 ソ ース選択	Embln CH13 ⇅	ダウンミックスCH14 ソ ース選択	Embln CH14 ⇅	ダウンミックスCH15 ソ ース選択	Embln CH15 ⇅	ダウンミックスCH16 ソ ース選択	Embln CH16 ⇅
ダウンミックスCH17 ソ ース選択	Embln CH17 ⇅	ダウンミックスCH18 ソ ース選択	Embln CH18 ⇅	ダウンミックスCH19 ソ ース選択	Embln CH19 ⇅	ダウンミックスCH20 ソ ース選択	Embln CH20 ⇅
ダウンミックスCH21 ソ ース選択	Embln CH21 ⇅	ダウンミックスCH22 ソ ース選択	Embln CH22 ⇅	ダウンミックスCH23 ソ ース選択	Embln CH23 ⇅	ダウンミックスCH24 ソ ース選択	Embln CH24 ⇅
ダウンミックスCH25 ソ ース選択	Embln CH25 ⇅	ダウンミックスCH26 ソ ース選択	Embln CH26 ⇅	ダウンミックスCH27 ソ ース選択	Embln CH27 ⇅	ダウンミックスCH28 ソ ース選択	Embln CH28 ⇅
ダウンミックスCH29 ソ ース選択	Embln CH29 ⇅	ダウンミックスCH30 ソ ース選択	Embln CH30 ⇅	ダウンミックスCH31 ソ ース選択	Embln CH31 ⇅	ダウンミックスCH32 ソ ース選択	Embln CH32 ⇅
ダウンミックスCH01 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH02 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH03 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH04 Lch 演算係数	-127
ダウンミックスCH05 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH06 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH07 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH08 Lch 演算係数	-127
ダウンミックスCH09 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH10 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH11 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH12 Lch 演算係数	-127
ダウンミックスCH13 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH14 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH15 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH16 Lch 演算係数	-127
ダウンミックスCH17 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH18 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH19 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH20 Lch 演算係数	-127
ダウンミックスCH21 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH22 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH23 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH24 Lch 演算係数	-127
ダウンミックスCH25 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH26 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH27 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH28 Lch 演算係数	-127
ダウンミックスCH29 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH30 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH31 Lch 演算係数	-127	ダウンミックスCH32 Lch 演算係数	-127
ダウンミックスCH01 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH02 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH03 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH04 Rch 演算係数	-127
ダウンミックスCH05 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH06 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH07 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH08 Rch 演算係数	-127
ダウンミックスCH09 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH10 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH11 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH12 Rch 演算係数	-127
ダウンミックスCH13 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH14 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH15 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH16 Rch 演算係数	-127
ダウンミックスCH17 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH18 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH19 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH20 Rch 演算係数	-127
ダウンミックスCH21 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH22 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH23 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH24 Rch 演算係数	-127
ダウンミックスCH25 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH26 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH27 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH28 Rch 演算係数	-127
ダウンミックスCH29 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH30 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH31 Rch 演算係数	-127	ダウンミックスCH32 Rch 演算係数	-127
ダウンミックスCH01 Lch 演算係数符号	1 ⇅	ダウンミックスCH02 Lch 演算係数符号	1 ⇅	ダウンミックスCH03 Lch 演算係数符号	1 ⇅	ダウンミックスCH04 Lch 演算係数符号	1 ⇅
ダウンミックスCH05 Lch 演算係数符号	1 ⇅	ダウンミックスCH06 Lch 演算係数符号	1 ⇅	ダウンミックスCH07 Lch 演算係数符号	1 ⇅	ダウンミックスCH08 Lch 演算係数符号	1 ⇅
ダウンミックスCH09 Lch 演算係数符号	1 ⇅	ダウンミックスCH10 Lch 演算係数符号	1 ⇅	ダウンミックスCH11 Lch 演算係数符号	1 ⇅	ダウンミックスCH12 Lch 演算係数符号	1 ⇅

☐ ダウンミックスCH13 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH14 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH15 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH16 Lch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH17 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH18 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH19 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH20 Lch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH21 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH22 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH23 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH24 Lch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH25 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH26 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH27 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH28 Lch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH29 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH30 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH31 Lch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH32 Lch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH01 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH02 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH03 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH04 Rch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH05 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH06 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH07 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH08 Rch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH09 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH10 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH11 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH12 Rch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH13 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH14 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH15 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH16 Rch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH17 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH18 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH19 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH20 Rch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH21 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH22 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH23 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH24 Rch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH25 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH26 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH27 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH28 Rch演算係数符号	1
☐ ダウンミックスCH29 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH30 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH31 Rch演算係数符号	1	☐ ダウンミックスCH32 Rch演算係数符号	1
☐ 音声ミックス1 CH01ソ ース選択	Mute	☐ 音声ミックス1 CH02ソ ース選択	Mute	☐ 音声ミックス1 CH03ソ ース選択	Mute	☐ 音声ミックス1 CH04ソ ース選択	Mute
☐ 音声ミックス1 CH01 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス1 CH02 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス1 CH03 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス1 CH04 演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス2 CH01ソ ース選択	Mute	☐ 音声ミックス2 CH02 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス2 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス2 CH04 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス2 CH01 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス2 CH02 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス2 CH03 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス2 CH04 演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス3 CH01ソ ース選択	Mute	☐ 音声ミックス3 CH02 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス3 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス3 CH04 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス3 CH01 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス3 CH02 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス3 CH03 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス3 CH04 演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス4 CH01ソ ース選択	Mute	☐ 音声ミックス4 CH02 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス4 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス4 CH04 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス4 CH01 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス4 CH02 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス4 CH03 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス4 CH04 演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス5 CH01ソ ース選択	Mute	☐ 音声ミックス5 CH02 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス5 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス5 CH04 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス5 CH01 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス5 CH02 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス5 CH03 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス5 CH04 演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス6 CH01ソ ース選択	Mute	☐ 音声ミックス6 CH02 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス6 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス6 CH04 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス6 CH01 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス6 CH02 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス6 CH03 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス6 CH04 演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス7 CH01ソ ース選択	Mute	☐ 音声ミックス7 CH02 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス7 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス7 CH04 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス7 CH01 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス7 CH02 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス7 CH03 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス7 CH04 演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声ミックス8 CH01ソ ース選択	Mute	☐ 音声ミックス8 CH02 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス8 CH03 ソース選択	Mute	☐ 音声ミックス8 CH04 ソース選択	Mute
☐ 音声ミックス8 CH01 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス8 CH02 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス8 CH03 演算係数(*0.1dB)	-127	☐ 音声ミックス8 CH04 演算係数(*0.1dB)	-127
☐ 音声遅延(ms)	0	☐ アラーム設定 @ 内部 バス通信エラー	無効	☐ アラーム設定 @ SDI 入力1アンロックエラー	無効	☐ アラーム設定 @ LTC アンロックエラー	無効
☐ トラップ設定 @ SDI 入力1アンロックエラー	無効	☐ トラップ設定 @ LTC アンロックエラー	無効				

9-4-1. プリセット ロード

EEPROM 内のプリセットを読み出します。読み出す前に書き込んでおく必要があります。プリセット 1～12 を選択して読み込みます。

9-4-2. プリセット セーブ

現在の設定情報を EEPROM のプリセットに書き込みます。プリセット 1～12 を選択して書き込みます。

9-4-3. 現設定をコンフィグファイルにセーブ

現在の設定値をコンフィグファイルに書き込みます。はい（プリセット 1）～はい（プリセット 12）が設定でき、設定したときに SDCARD 内のコンフィグファイルを書き換えます。一度、はい（プリセット 1）を指定し、プリセット 1 に書き込んだ後に、設定修正し、再度書き込む場合は、一度いいえを選択後、再度はい（プリセット 1）を選択してください。

9-4-4. 初期設定に戻す

戻すボタンをクリックすると各種設定を初期状態にします。ただし、この操作だけでは現在のモジュール状態が初期状態になるだけで SDCARD に設定情報を書き込んでいませんので、再度電源投入すると、SDCARD に設定されている設定値で起動されます。

9-4-5. 入力 1 リレー

SDI 入力 1 のリレーの設定です。オンで SDI 受信状態となり、オフで SDI 入力 1 を SDI 出力 1 にバイパス出力します。

9-4-6. デマックス Ch08 出力選択

デマックス出力 Ch08 に出力する信号を選択します。AES8 を選択すると AES 信号の 8 系統目が出力され、LTC を選択すると LTC を出力します。LTC の時刻情報は、タイムコード選択で選択します。

9-4-7. LTC 出力

LTC 出力をオン、オフします。

9-4-8. TC(タイムコード)選択

タイムコードを内部 TC（自走タイムコード）か、ATC（アンシラリータイムコード）か、フレーム入力 LTC かを選択します。

9-4-9. タイムコードオフセット

タイムコードのオフセットをオン、オフします。

9-4-10. タイムコードオフセット（時間）～（フレーム）

タイムコードのオフセット値を時間、分、秒、フレームで設定します。

9-4-11. タイムコードロスト時

タイムコードがロストとしたときの動作を設定します。自走、停止、パケットなし、入力 LTC が選択できます。

9-4-12. タイムコード初期値（時間）～（フレーム）

自走時のタイムコード初期値を時間、分、秒、フレームで設定します。

9-4-13. タイムコード初期値(BG1)～（BG フラグ）

タイムコードパケットの BG1～BG フラグの値を設定します。

9-4-14. タイムコードドロップフレーム

タイムコードをドロップフレームでカウントする場合はオンに設定し、ノンドロップフレームでカウントするときはオフに設定します。

9-4-15. タイムコード初期値読み込み

オンに設定すると、設定されたタイムコード初期値がセットされます。

9-4-16. タイムコードフレーム初期値読み込み

タイムコードのフレーム初期値を読み込む場合はオン、読み込まない場合はオフに設定します。

9-4-17. タイムコードラン

自走の時にタイムコードをオンで、カウント開始し、オフでカウント停止します。

9-4-18. 同じ TC ロスト判定

同じタイムコード値が入力された場合、オンの場合ロストと判定し、タイムコードロスト時の設定された動作を行います。オフに設定された場合はそのまま、同じタイムコードをスルー出力します。

9-4-19. DF/NDF モード

入力されている DF/NDF 情報に従い動作するか、強制的に DF 又は NDF で動作するかを設定します。入力追従モード、強制 DF モード、強制 NDF モードが設定できます。

9-4-20. 自動プリセット適用

局間制御コードの音声モードに従い、プリセットを切り替える場合はオンに設定し、音声モードに従わないときはオフに設定します。
オフの場合には、プリセット 1 で動作します。

9-4-21. プリセット 1M～プリセットその他

各音声モードで適用するプリセット番号を設定します。

9-4-22. GPI1 機能、GPI2 機能

GPI1,GPI2 の機能を設定します。プリセット 1～12 の読み込み、出力 SDI フリーズ、出力 SDI スルー、音声出力ミュート、タイムコードセット、なしが設定できます。DMX5102 は、SDI 出力は、リクロック出力のため、出力 SDI フリーズ、出力 SDI スルーは動作しません。

9-4-23. GPO1 機能,GPO2 機能

GPO1,GPO2 の機能を設定します。プリセット 1～12 タリー、出力 SDI フリーズタリー、出力 SDI スルータリー、音声出力ミュートタリー、タイムコードセットタリー、SDI エラータリー、LTC エラータリー、なしが設定できます。

9-4-24. カレントエンベデッド Ch01～Ch32 入力ゲイン

エンベデッド音声の入力ゲインを設定します。単位は dB で、設定するゲイン値の 10 倍の値を設定できます。設定できる範囲は -500(-50.0dB)～500(+50.0dB)です。

9-4-25. カレント外部出力 Ch01～Ch16 出力ゲイン

外部出力音声の出力ゲインを設定します。単位は dB で、設定するゲイン値の 10 倍の値を設定できます。設定できる範囲は -500(-50.0dB)～500(+50.0dB)です。

9-4-26. カレントテストトーン 1 振幅(dBFS)

テストトーン 1 の振幅を設定します。設定範囲は、-63～0dBFS で、1dB 単位で設定します。

9-4-27. カレントテストトーン 1 周波数

テストトーン 1 の周波数を選択します。選択できるのは、400Hz, 800Hz, 1kHz, 2kHz です。

9-4-28. カレントテストトーン 2 振幅(dBFS)

テストトーン 2 の振幅を設定します。設定範囲は、-63～0dBFS で、1dB 単位で設定します。

9-4-29. カレントテストトーン 2 周波数

テストトーン 2 の周波数を選択します。選択できるのは、400Hz, 800Hz, 1kHz, 2kHz です。

9-4-30. カレントリマップ出力 Ch01～Ch16

外部音声出力のリマップ設定をチャンネルごとに行います。エンベデッド入力 Ch01～Ch32,テストトーン 1,2 ,ダウンミックス音声、ミックス音声 1～8、ミュートが設定できます。

9-4-31. ダウンミックス・ソース選択 Ch01～Ch32

ダウンミックス演算を行う、各チャンネルのソースを設定します。エンベデッド入力 Ch01～Ch32,テストトーン 1,2、ミュートが設定できます。

9-4-32. ダウンミックス・Left、Right 係数 Ch01～Ch32

ダウンミックス演算を行う、Lch、Rch 用の係数を設定します。設定する係数の 10 倍の値を設定します。-126(-12.6dB)～0dB、-127 に設定したときは係数 0 を設定します。

9-4-33. ダウンミックス・Left、Right 符号 Ch01～Ch32

ダウンミックス演算を行う、Lch、Rch 用の符号を設定します。-1(マイナス)か、1 (プラス) を設定します。

9-4-34. ミックス 1～8 ソース選択 Ch01～Ch04

各指定された 4 チャンネルの音声合成を 8 パターン行うことができ、各ソースを設定します。エンベデッド入力 Ch01～Ch32,テストトーン 1,2、ミュートが設定できます。

9-4-35. ミックス 1～8 係数 Ch01～Ch04

各 4 チャンネルの係数を設定します。設定する係数の 10 倍の値を設定します。-126(-12.6dB)～0dB、-127 に設定したときは係数 0 を設定します。

9-4-36. カレント音声遅延(ms)

音声遅延を設定します。設定できる範囲は、0ms～2000ms で、1ms 単位です。

9-4-37. アラーム設定（内部バス通信エラー）

内部バス通信エラーが発生したときにアラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-4-38. アラーム設定（SDI 入力 1 アンロックエラー）

SDI 入力 1 アンロックエラーが発生したときにアラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-4-39. アラーム設定（LTC アンロックエラー）

LTC アンロックエラーが発生したときにアラーム出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-4-40. トラップ設定（SDI 入力 1 アンロックエラー）

SDI 入力 1 アンロックエラーが発生したときに SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-4-41. トラップ設定（LTC アンロックエラー）

LTC アンロックエラーが発生したときに SNMP トラップ出力するか（有効）、しないか（無効）を設定します。

9-5. 再起動設定

コントローラの再起動を WEB から行うことができます。再起動を行うことにより、SD カードの設定を再読み込みします。



9-5-1. 再起動を許可

再起動の許可をするか、しないかをいいえ、はいで設定します。

9-5-2. コントローラの再起動

再起動の許可がはいの状態で、再起動をクリックすることによりコントローラが再起動されます。

9-6. ログ設定

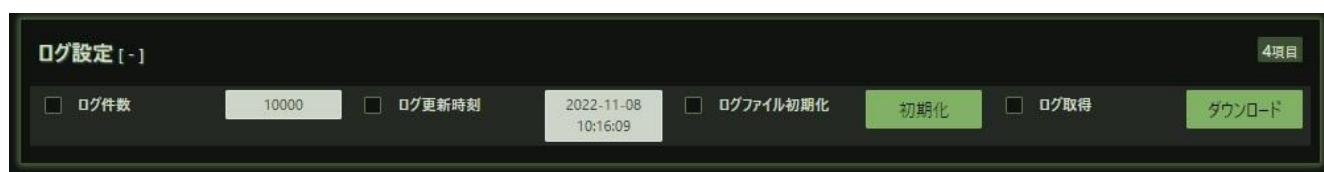
ログの初期化、ログのダウンロードを行うことができます。動作中に SD カードを抜くとロギング動作は停止します。再度 SD カードを挿入した後は、コントローラを再起動してください。ログの時刻はリアルタイム時刻ソースで設定したソースの時刻情報です。また、ログに記録する内容は以下の通りです。

1) ステータス

- ・SDI 入力のアンロックを含むフォーマットと変化時刻
- ・LTC 入力ロック/アンロックと変化時刻

2) 各種設定

全項目の設定値と変化時刻



9-6-1. ログ件数

現在のログ件数を表示します。最新のログが最大 10000 件保存されます。

9-6-2. ログ更新時刻

ログの最終更新時刻を表示します。

9-6-3. ログファイル初期化

初期化ボタンをクリックすることにより、ログを初期化します。

9-6-4. ログ取得

ダウンロードボタンをクリックすることにより、WEB を開いている PC にログをダウンロードします。

ダウンロードしたログの例を以下に示します。

idx	time	,slt	mode	,OID	, type	, val	Status Description
1	2023-09-13 15:36:49	1	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.73.30.100	INT	13	SDI 1080I59
2	2023-09-13 15:36:49	1	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.73.30.102	INT	13	REF 1080I59
3	2023-09-13 15:36:50	1	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.73.30.102	INT	1	REF UNLOCK
4	2023-09-13 15:36:50	1	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.73.30.102	INT	13	REF 1080I59

9-7. 製品情報

製品情報には各種モジュールの製品情報が表示されます。



9-7-1. 製品 ID

モジュールの ID 番号です。DMX5102-8D は 72、DMX5102-8A は 73 です。

9-7-2. 製品概要

モジュールの機能概要です。

9-7-3. Version (Firmware), Version (Hardware)

DMX5102-8D/DMX5102-8A に搭載されている CPU の Firmware バージョンと、FPGA の Hardware バージョンを表示します。

9-7-4. 占有スロット数

占有するスロット数を表示します。共に 2 スロットです。

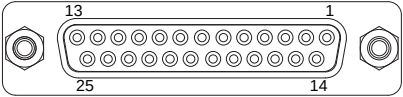
9-7-5. 別名

別名を設定することができます。ユニークな名称を設定し、SNMP で名称確認することができます。

1 0 . コネクター ピンアサイン表

ANALOG OUT Dsub25ピン(メス) 勘合台インチネジ

1	AUDIO_CH8_H	10	AUDIO_CH2_H	18	AUDIO_CH5_H
2	AUDIO_CH8_S	11	AUDIO_CH2_S	19	AUDIO_CH5_S
3	AUDIO_CH7_C	12	AUDIO_CH1_C	20	AUDIO_CH4_C
4	AUDIO_CH6_H	13	N.C.	21	AUDIO_CH3_H
5	AUDIO_CH6_S	14	AUDIO_CH8_C	22	AUDIO_CH3_S
6	AUDIO_CH5_C	15	AUDIO_CH7_H	23	AUDIO_CH2_C
7	AUDIO_CH4_H	16	AUDIO_CH7_S	24	AUDIO_CH1_H
8	AUDIO_CH4_S	17	AUDIO_CH6_C	25	AUDIO_CH1_S
9	AUDIO_CH3_C				



1 1 . 定格および電気的特性

SDI 入力	対応フォーマット(映像)	3G-SDI 1080/ 60p,59.94p,50p (レベル A/B) HD-SDI 1080/ 60i,59.94i,50i,30p,29.97p,25p,24p, 23.98p,24psf,23.98psf 720/ 60p,59.94p,50p,30p,29.97p,25p, 24p,23.98p SD-SDI 525/59i, 625/50i
	対応フォーマット(音声)	48kHz sampling 20bit,24bit 同期音声のみ
	コネクター	BNCx1
	入力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
SDI 出力	対応フォーマット	SDI 入力と同じ
	コネクター	BNCx1
	出力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
AES/EBU 出力	対応フォーマット	48kHz sampling 24bit
	出力レベル、インピーダンス	1Vp-p 75Ω
	コネクター	DMX5102-8D BNCx8 DMX5102-8A BNCx2
ANALOG AUDIO 出力 DMX5102-8A	基準入力レベル	0/+4dBm 600Ω平衡
	最大出力レベル	+24dBm
	コネクター	Dsub25ピン(メス) 勘合台インチネジ
LTC 出力	コネクター	DMX5102-8D AES8と共用 DMX5102-8A BNCx1
	出力レベル、インピーダンス	2.0 Vp-p 75 Ω
リクロックアウト入出力 遅延	SD-SDI	約 0.037us
	HD-SDI	約 0.013us
	3G-SDI	約 0.007us
占有スロット数	2 スロット	
動作環境	0℃ ～ 40℃ 20% ～ 85% (結露無きこと)	
電源	DC 12V	
消費電力	DMX5102-8D	9.5W
	DMX5102-8A	15W
外形寸法	398.5 x 88 mm	
質量	DMX5102-8D	250g
	DMX5102-8A	300g

1 2 . お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address : 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX : 042-584-0314

URL: <https://www.cosmic-eng.co.jp/>

E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp